

## 2021 年度大学院生発表奨励賞

### 優秀賞

宿坊を基点とする観光まちづくりにおけるスピリチュアル・マーケット志向  
—観光庁「寺泊」事業による支援対象地域の取り組みに着目して—  
大阪府立大学大学院経済学研究科 和栗隆史

#### <講評>

本報告は、観光庁の助成事業を追跡するなかで、寺泊・宿坊を CBT (Community based tourism)の拠点として位置付けて、Spiritual But Not Religious の客層を取り込みつつ、Community based spiritual tourism の可能性を示唆するものである。

報告者は「寺泊」「宿坊」にいち早く注目し、一般社団法人・全国寺社観光協会を立ち上げ、「宿坊創生プロジェクト」を推進して来た経歴を持ち、現在も寺泊助成の現場に行き、調査取材を行っている。発表後の質疑応答でも、お寺と地域社会とのかかわり方が鍵となる、という指摘に対して、発表原稿では紹介していない具体的な事例を挙げて応答するなど、寺泊事例の現場について、すでにかんがりの取材・調査を行っている様子がうかがえた。

まだ萌芽段階にある城泊・寺泊であるが、寺泊に関しては、報告者がこの研究分野をリードしていくことが期待できる。さらに寺泊・宿坊が地域再生の鍵となることも十分承知されているので、その視点からの研究成果も期待できる。

以上の理由から、本発表は大学院生発表奨励賞の優秀賞に値すると判断する。